

保険かわら版

保険請求や医療保険の動向等

レセプトの取り下げ
Q1 請求の誤りを見つけた。正しい請求に直したいので、レセプトの取り下げをしたいが、どのようにすれば良いか。

A1 社会保険診療報酬支払基金（以下で支払基金）及び県国保連合会(以下で国保連)のホームページにレセプト取り下げのための請求書が掲載されているので、ダウンロードして利用できる。基金は「様式集」の「再審査」のところに「再審査請求書」がWordとPDFファイルである。再審査と取り下げの両方に利用できる形で、取り下げの方に○印をつけて使用する。一方、国保の方は「様式ダウンロード」の保険医療機関のところに「診療(調剤)報酬明細書 取り下げ依頼書」がXLSファイルである。こうした専用の様式を使った取り下げ依頼は、該当レセプトの保険者ではなく、該当の審査支払機関である基金長野支部か県国保連合会に対して行う。

関東信越厚生局の
26年度個別指導指摘事項
Q2 本紙で26年度の長野県の個別指導指摘事項を見てきたが、関東信越厚生局のホームページでの同年度の指摘事項の公開はまだか？

県保険医協会の「税務・経営電話相談」は、顧問税理士の土屋信行氏により、次の通り実施しています。
平日の受付時間
10：00～12：00、13：00～16：00
受付電話 0269-33-3265(しらかば会計事務所)
なお、土屋税理士(写真)が不在の場合は会員である旨と連絡先を伝言下さい。改めて税理士の方から連絡を致します。



長野松本佐久辰野の4地区結ぶweb会議で開催。19:40～21:30。出席役員:鈴木会長、市川、野口、宮沢、矢崎各副会長、奥山、花岡、布山、三田各常任理事、宮沢事務局長、議長:林常任理事

報告・承認事項
前回議事要録、4月度会計報告を承認。前半期の共済普及結果で次の報告があった。グループ保険は目標を大きく下回り、グループ保険単独でメリット有る制度とするための検討が必要。保険医年金の月払い目標の半分であったが、一時払いは目標を超過達成した。開業医共済は年度目標40名に対して24名にとどまった。
医療運動の関係
1.医療情勢...情勢報告に続き、子どもの

A2 例年より公開が遅れて先月、7月21日に該当のホームページが更新され、26年度版になった。「個別指導において保険医療機関等に改善を求めた主な指摘事項について」として医科、歯科、保険薬局別にPDFファイルで掲載されている。医科は表紙を含めA4の16p、歯科は同様6p、コンパクトにまとめられていて、歯科に関しては既に8月の歯科部会でこれを参照したが、本紙で紹介が完了した長野県での指摘項目の方が詳しく、本局版に掲載していないものもあった。インターネット環境にない方は、県保険医協会へ請求いただければ郵送する。

訪問看護で使用した
点滴薬剤の算定
Q3 在宅医療において、自院又は訪問看護ステーションの看護師に訪問看護の際の点滴注射を指示した場合、どのように算定するか。

A3 以下のいずれかの方法で算定する。
医師の診療に基づき、週（指示日か

医師の指示日数	実際の点滴日数	管理指導料の算定	薬剤料の算定欄
週3日以上	3日以上		「姫その他」欄
	2日以下	×	
週2日以下		×	「在宅」欄

1 医師の指示日から7日間に3日以上点滴指示をした場合
2 算定できる注射薬は在宅医療の部に定める注射薬に限る

保険医年金の募集開始！
9月1日より保険医年金募集が開始されます。現在の予定利率は1.259%で、昨年度は配当率0.210%を含めた運用実績が1.469%となりました。

払込方法は1口1万円の月払（通算30口まで）と、1口50万円の一時払があります。特に一時払は1回の申し込

ら7日間）に3日以上点滴を指示した場合は、在宅患者訪問点滴注射管理指導料と薬剤料を算定する。この場合、薬剤料は「注射」の項の「姫その他」欄で算定し「訪点」と表示する。また、「摘要」欄に点滴注射を行った日を記載する。なお、週3日以上実施できなかった場合でも、使用した分の薬剤料は算定できる。

週2日以下の点滴指示の場合、管理指導料は算定できない。ただし、医師の診療日以外の日に看護師等が点滴を実施した際の薬剤料は、「在宅」欄で算定できる。なお、算定できる注射薬は在宅医療の部に規定されている注

射薬(「保険診療の手引」P307参照)に限られる。また、「摘要」欄に薬剤の使用日を記載する。
後続永久歯のない
乳歯のCAD/CAM冠

Q4 後続永久歯のない乳歯にCAD/CAM冠は可能か。

A4 今回改定で、後継永久歯が先天的に欠如している乳歯に対して硬質レジンジャケット冠により歯冠修復を行った場合が算定できるようになった。しかし、CAD/CAM冠については、現状では算定を認める解釈は示されていない。他協会の厚労省要請等でも算定を認めるよう求める声が出ている現状。

3.参議院選挙後の医療運動...参議院選挙結果の評価について意見交換を行った。当選議員と秋の臨時国会前に地元で懇談を依頼する。

4.指導問題での要請... 保団連厚生労働省要請...保団連が準備している厚生労働省要請の内容について報告。 関東信越厚生局長野事務所要請...4月からの運用変更とその対応なども含めた長野事務所に對しての指導の運用に関しての要請文(案)を確認した。

北信越ブロック会議の準備
運営担当県としてブロック会議の最終的な運営分担、資料準備等を確認した。

その他
スポーツ歯学の講演会...東京歯科大学特任教授石上恵一氏を講師に9/11開催。

みあたり40口(2,000万円)まで加入できますので、まとまった資金を積み立てに回したい先生にオススメです。

三井生命、富国生命、太陽生命の生保職員が訪問致しますので是非ご引見のうえ、詳しくお聞きください。なお、直接保険医協会にお電話いただいても構いませんのでご連絡をお待ちしております。

活動目録

長野県保険医協会関係の会議等の動向を下記に掲載。場所記載なしは長野市で開催又は実施。4地区Web会議は長野佐久松本辰野を結んでのもの。[]内は担当役員及び事務局名で事務局は一部略あり。保団連会議は保団連役職名で記載。

7/19*理事会(理事会便り参照)
7/24*北信越ブロック会議が上越市で[鈴木会長、市川、野口、宮沢副会長、奥山、林、三田常任理事、宮沢事務局長ほか事務局4名]
7/25「支払基金の『審査情報提供例(歯科)』44件の区分別一覧」を歯科会員のメール便に折り込み封入で配布 *石上恵一氏による公開講座「聞いてビックリ!咬合と身体(運動)機能との関係!」のチラシ配布 *~27「在宅医療の手引」編集作業が東京で[増田事務局員]
7/28*地域医療委員会を4地区Web会議で[鈴木会長、市川、野口、宮沢副会長、奥山、林、布山、三田常任理事、宮沢事務局長]
7/28*保団連歯科社保審査対策部会に駒ヶ根より電話会議参加[池上部員、原事務局員]
7/30*新規事務局員採用の筆談試験
8/2*会計監査[内坂、北村監査、市川副会長、宮沢事務局長、井出事務局員]
8/4*北信越ブロック事務局長電話会議[宮沢事務局長]
8/5*県社会保険衛生協議会(以下で県社協)事務局会議[宮沢事務局長]、*福祉医療給付制度の会改善を進める会[同上]
8/6*保団連歯科理事会議が東京で[市川理事、田村事務局員]
8/7*保団連理事会[同上]
8/9*歯科部会4地区Web会議で[鈴木会長、市川、宮沢副会長、池上、奥山、林、布山常任理事、下條理事、小林、久根下部員]
8/12*県社協運営委員会[宮沢事務局長] *同国保部会[同上、田村事務局員] *県体育協会加盟55団体に前出のの公開講座について周知依頼を発送 *前出公開講座及び同日同会場の「実践!!口腔内臨床写真」勉強会の案内はがきを歯科会員に発送。

8/17*保険でより良い歯科医療を長野連絡会が長野松本電話会議[鈴木会長、奥山常任理事、原、田村事務局員]
8/18*保団連歯科開業医会員アンケートをファクシミリ登録有の510名に送信 *総務委員会を4地区Web会議で[鈴木会長、市川副会長、奥山、河原田、林、布山、三田常任理事、宮沢事務局長ほか] *前出の公開講座の案内を松本地区の報道各社支局等にファクシミリ送信で周知依頼
8/20-21*保団連政策部会が大阪で[市川副会長、宮沢部員、田村事務局員] *「在宅医療の手引」の編集会議が東京で[増田事務局員]
8/22*理事会(次号理事会便り参照)
8/24-25*前出の9月実施の講演会及び勉強会、共催のTPP学習会のチラシ折り込み配布

長野県保険医協会の会員数 8月1日現在1,343人（医科744人、歯科599人）